

市民と野党の連合政権実現で

いのち、暮らし、営業 守る新しい政治に

臨時国会開き、まともなコロナ対策を！

オリ・パラ強行のもとでの感染爆発で医療はひっ迫し、入院治療も受けられない「自宅療養者」は全国で12万人にのぼり、在宅死が続出しています。「明かりは見え始めている」と、救える命が失われていることに痛みを感じない菅首相。自民党総裁選挙をやる前に「直ちに臨時国会を開け」「命を救う対策を行え」の声をあげましょう。

コロナ対策置き去り菅政権ノー

いま緊急に必要なことは、臨時医療施設の増設、感染拡大抑制のための安全・迅速なワクチン接種とPCR検査の大規模実施、保健所体制強化、営業損失への十分な補償などです。野党が求めるコロナ対策審議のための臨時国会召集には背を向け、一方で総裁選挙や衆議院選挙向けの大型バラマキ補正予算の編成を進める菅首相。一刻を争う「いのち」への危機感も責任感もありません。

菅政権が8月27日に決定した約1兆4226億円の予備費の追加支出はコロナ対策には全く不十分なもの。来年度予算の概算要求でも、社会保障費は抑制する一方で軍事費は5兆4797億円と国民の願いに反しています。



市民と野党で暮らしをこう変える

○誰もが安心して医療が受けられる社会に

医療費削減政策は転換し、医療・公衆衛生の早期拡充を進めます。コロナ対策では、医療施設の新設など医療体制の確保、ワクチンの安全・迅速な接種、PCR検査の抜本拡大、医療従事者やエッセンシャルワーカーの待遇改善、事業者への十分な補償を進めます。

○憲法いかし、戦争に巻き込まれない社会に

安保法制や共謀罪法などの違憲立法は廃止し、軍事対立ではなく平和憲法の花を精神であらゆる外交努力を行います。核兵器禁止条約の批准をめざします。敵基地攻撃などの軍事予算は削減し、社会保障の充実に回します。

○8時間働けば普通に暮らせる社会に

最低賃金の引き上げや非正規雇用の処遇改善を行い、8時間働けば誰もが人間らしい生活を送れるようにします。子育て世代や若者への社会的投資や公的支援を拡充します。消費税減税を行い、富裕層などの不公平税制を是正し、低所得層や中間層への再配分を行います。

憲法共同センター (戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
<http://www.kyodo-center.jp/>

2021.9